



宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校



本校は、平成6年（1994年）県立五ヶ瀬中学校・五ヶ瀬高等学校として開校以来、6カ年間を見通したさまざまな教育内容の研究開発に努めています。中・高の連携により生み出された「ゆとり」を生かし、生徒一人ひとりへの対応を大切にする少人数指導を軸に、様々なしかけをしながら、生徒が理解し、やる気を出すまで「待つ」教育の実践に取り組んでいます。

中・高の教科指導内容の相互乗り入れ

指導内容の配列を工夫し、発達段階に応じた効果的な指導を行っています。また、指導内容が中・高で重複しないようにすることで時間を生み出しています。

【具体例】中学校理科(前期課程)と高校理科(後期課程)の「相互乗り入れ」

	物理	化学	生物
中1	・縦波・横波、波の表し方 ・凹レンズ ・気温と音速、媒質の違いと音速 ・作用反作用 ・水圧		
中2	・帯電(はく検電器を用いて) ・非線形抵抗	・燃料電池 ・周期表 ・化学式(発展内容) ・化学反応式(発展内容)	・刺激の需要と反応
中3	・等加速度直線運動	・混合物の分離の一部(中1) ・炎色反応 ・物質質量 ・原子の構造と結びつき ・化学結合 ・濃度(中1)	・原核細胞と真核細胞 ・細胞分画法 ・浸透圧 ・酵素の性質(発展内容)
高校理科	・仕事とエネルギー	・気体の性質の一部(中1) ・水溶液の性質の一部(中1) ・電池	・体細胞分裂(中3) ・単細胞と多細胞(中3) ・減数分裂(中3) ・発生とそのしくみ(中3) ・遺伝(中3)



後期課程で大きく伸びるための前期課程での学習指導

前期課程では、習熟度別指導に加えて、中・高籍の教員によるTTや少人数指導を取り入れ、6カ年間を見通しながら発達段階に応じた指導を行っています。生徒の「つまずき」をフォローするレベルアップ指導を行ったり、得意分野をさらに伸ばすための五ヶ瀬検定を実施したりしながら、着実に学習習慣を身につけさせ、学習意欲の喚起に努めています。

レベルアップ指導

苦手意識が長期化しないように、マンツーマン指導を基本にした教科指導を国語、社会、数学、理科、英語で早朝、昼休み、放課後、夜(寮)を利用して行っています。



五ヶ瀬検定

得意分野をさらに伸ばしたいという生徒のニーズに応えるために、国語、社会、数学、理科、英語で「五ヶ瀬検定」を行っています。

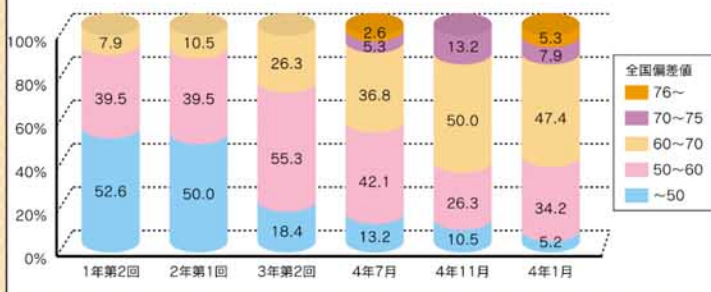
数学科の「五ヶ瀬検定」級別内容

級	内容	備考
10級	計算問題(正の数・負の数、文字の式)	完答合格
9級	一元一次方程式(文章題を含む)	9割合格
8級	比例・反比例・一次関数	〃
7級	連立方程式・証明・確率	〃
6級	式の展開・因数分解・平方根	〃
5級	関数・二次方程式・三平方の定理	〃
4級	高校入試レベル総合問題1(計算・関数・確率)	〃
3級	高校入試レベル総合問題2(主に図形)	〃
2級	数Iレベルの式の計算(展開・因数分解)	〃
1級	数Iレベル	〃

化学の「五ヶ瀬検定」では合格した生徒に免許証を交付しています。これを励みに前期生でセンター試験レベルまで挑戦する生徒も出ています。

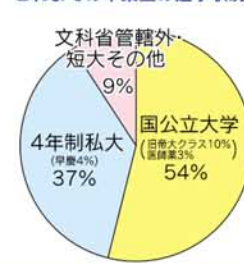


現5年生の校外テスト結果の推移



「受験対応能力」も身に付きます!!

これまでの卒業生の進学状況



【主な進学先】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 北海道大学 | 広島大学 | 早稲田大学 |
| 筑波大学 | 九州大学 | 中央大学 |
| 東京大学 | 九州工業大学 | 津田塾大学 |
| お茶の水女子大学 | 長崎大学 | 立教大学 |
| 東京外国語大学 | 熊本大学 | 立命館大学 |
| 横浜国立大学 | 宮崎大学 | 防衛学校 |
| 名古屋大学 | 宮崎県立看護大学 | 海上保安学校 |
| 京都大学 | 鹿児島大学 | 国立看護専門学校 |
| 大阪大学 | 自治医科大学 | |
| 神戸大学 | 慶応義塾大学 | |

21世紀の国際社会に通用する 人材の育成を目指します



本校の設立の理念は「感動と感性の教育を行い、野性味のある個性豊かな、21世紀の国際社会で通用する人材の育成」です。受験に対応できる力だけではなく、フォレストピア学習での横断的、総合的な学力の養成、寮教育による精神面での成長、社会性の育成など「数値化できない」学力も重視してきました。卒業生や卒業生の保護者へのアンケートにおいて、協調性、忍耐力、コミュニケーション能力、思いやり、表現力、自主性・積極性の項目で、ほぼ90%以上が「伸びの満足度」を感じているという結果が出ています。(県教育委員会調査報告より)

体験学習や日常生活の中での感動の積み重ねが感性を磨き、真の個性を育てます

フォレストピア学習 ~体験学習に基づく探究活動で、自ら問いを立て考え抜く力が身につきます~



自主ゼミを通して感じたこと

フォレストピア学習で興味をもったテーマについて自分から本を読んで調べたり、詳しい人に聞いたりする過程は、大学において自主ゼミで難しい内容を理解するために非常に役に立ちました。この“自分から”というのが勉強を学問に変え、自分を大きく成長させてくれたと思います。

もう一つはコミュニケーション能力です。自主ゼミでは大学院で学ぶような非常に難解な内容を知恵を出し合って皆で理解していきます。この時、自分の意見を言うことはとても大切なことです。たとえその意見が間違った意見だとしてもそのおかげで議論が進み、理解が深まることもありましたし、そもそも自分の理解が間違っていたことを認識できます。(坊野慎治/京都大学理学部/都城市立明道小学校出身)

寮教育 ~お互いに支え合う寮生活を通して人間関係形成能力や対話の能力が育ちます~

「普通」でなくてもよい

オーストラリアに留学中、友人に学びの森の話をするとう「なんて変わった学校なんだ」と驚かれます。しかし、私は学びの森の最もよい部分は「別に普通でなくてもよい」という意識ではないかと思っています。入学して生活に慣れるまでの数ヶ月を除くと、私は「変わってはいけない」「みんなと同じようなことをしなければいけない」というプレッシャーをほとんど感じずに、中学高校生活を送ることができました。

在学中いつも何か打ち込んでいた記憶があるのは、自分のしたいことを追求できる雰囲気を感じていたからかもしれません。フォレストピア研究、日本学生科学賞への参加、6年間でわらじを編めるようになったことなど、学びの森での様々なサポートがなければできなかったであろう経験が記憶に残っています。

(小間口早春/一橋大学商学部/五ヶ瀬町立鞍岡小学校出身)



心を育てる指導 ~日常生活の中で感動を見つけ、感性が磨かれます~

朝の読書活動「学びの森220BOOKS」による読書指導

文学、新書、古典、英語の4ジャンルに分けた課題図書を「ブックガイド」と「読書日記」を使って、5年間で100冊読破する指導をしています。



ブックトーク



芸術への取り組み

合唱の風景

本校に赴任して ~職員の声~

私は今年度の4月より本校に赴任しましたが、「学びの森」での生活は初めてではありません。実は、平成6年の開校当時に高校1年生として本校に入学した1期生でもあり、生徒としてだけでなく教師としてこの「学びの森」で過ごすことができ、大変うれしく感じています。「天に学び 地に学び 人に学ぶ」という教育理念は、開校当時から現在まで本校の教育基盤となっています。五ヶ瀬の自然と人からたくさん学ぶ「フォレストピア学習」をはじめ、6学年が1つのファミリーとして過ごし、思いやりの心を育てる「寮教育」など、他の学校にはない「五ヶ瀬オリジナル」の教育がたくさんあります。教師として、さらには本校の先輩として、「学びの森」の生徒たちと素晴らしい日々を過ごしていきたいです。(高等学校籍/数学担当)

